

マリンアクティビティ事業者の 知名度アップ・利用客増加を実現

課題

知名度が低く 自然相手に経営が不安定

ドルフィンスマイルは2015年、世界最大のダイビングネットワークPADI（パディ）のダイビングインストラクターの資格を保有している経営者が、「海のプロ（インストラクター）」が安心、安全なアクティビティを提供できるマリンアクティビティ施設として創業した。能登島イルカ保護委員会の認定ガイドも務める経営者は、船頭や観光関係者とのネットワークも構築できており、一カ所で一日中楽しめる豊富なアクティビティが強み。複数のマリンアクティビティが体験できるのは、県内でも同社だけである。

珍しい業種でもあるため、創業当時は知名度不足により観光客にほぼ依存する状態。地元からの集客を増やす必要があった。また、自然相手の商売なので、季節変動や、対象の野生イルカの状態（いついなくなるか、近くにいない、など）が読み切れない、という不安材料もあった。

さらに、経営者が「ドルフィンスイム（イルカと一緒に泳ぐ）」プラン」に従事すると、ほかのアクティビティが手薄になってしまうため、スタッフの育成も必要不可欠であるなど、多くの課題を抱えていた。

支援

事業計画策定やスタッフの 移住支援でアクティビティを充実

課題が多くあるため、相談を受けた能登鹿北商工会は、まずは事業計画策定・実施支援としてSWOT分析を行い、「楽しんでもらえるアクティビティ、サービスを追加し、繁忙期（7月、8月）とその前後2カ月に集中して集客して売り上げを伸ばす」という方向性を定めた。

計画実現のために、小規模事業者持続化補助金の申請を提案。多様なマリンアクティビティを行うための宿泊部門を設立し、新規顧客獲得につなげた。

また、スタッフ増強策として、以前からの知り合いである三重県の女性がスタッフに加わることとなったため、七尾市の移住担当者を紹介。市の移住施策の活用をすすめるなど、移住支援を行った。

さらに、全国的にも希少な「野生イルカ」を能登島の観光の目玉とするべく、「いしかわ産業化資源活用推進ファンド」の申請に向けて、事業計画作成を支援。七尾市と交流してい



同社が提供する「マーメイド体験」

る岐阜県大垣市のイベント「芭蕉元禄大垣楽市」や七尾市の補助金も紹介し、売り上げ増加につなげていった。

売り上げは、支援後の2016年、2017年、2018年と3年連続増加中。テレビに取り上げられる機会も増え、知名度向上により利用客も増加傾向にある。

売り上げの季節変動は大きいままだが、今後も能登地区での唯一無二の存在となるよう活動支援を行うとともに、経営者のライフワークであるイルカ保護活動を島内外に広めていけるような支援も続けていく。

支援の経過

期間	支援内容
2016年4月	事業計画の策定支援
5月	持続化補助金の申請支援
2017年5月	スタッフの移住支援、持続化補助金の申請支援
6月	「いしかわ産業化資源活用推進ファンド」の申請支援

会社概要

会社名：ドルフィンスマイル
住所：石川県七尾市能登島向田町そわじ浦
電話番号：090-7088-3219
URL：<https://www.anri-dolphin-dream.com/>
代表者名：近本杏里
創業年：2015年
従業員数：1名
商工会名・担当者名：能登鹿北商工会・澤井健一